

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 酒田医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	訓	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	10,063	非該当	15 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

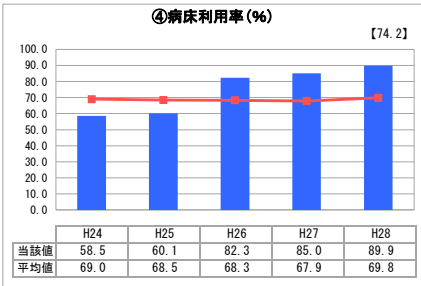
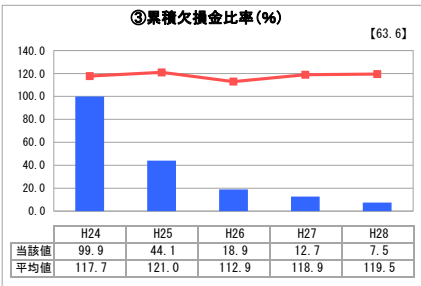
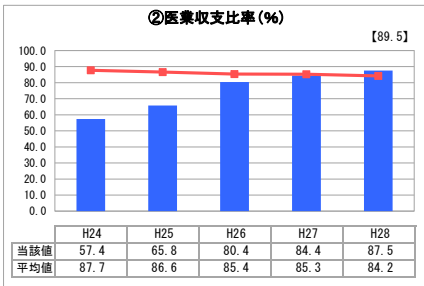
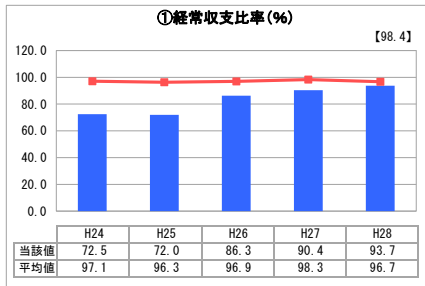
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	114	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	114
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	114	114

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性

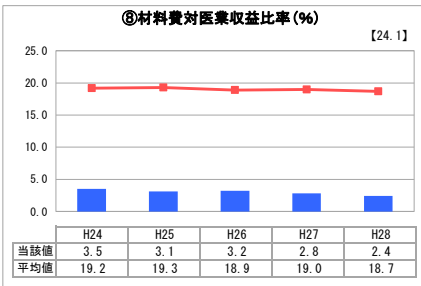
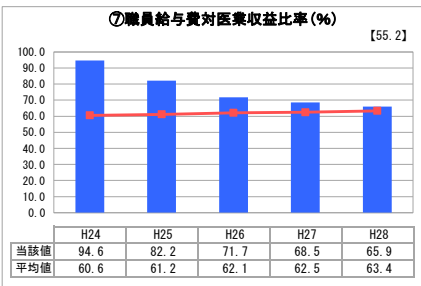
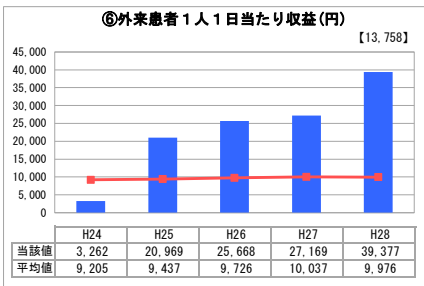
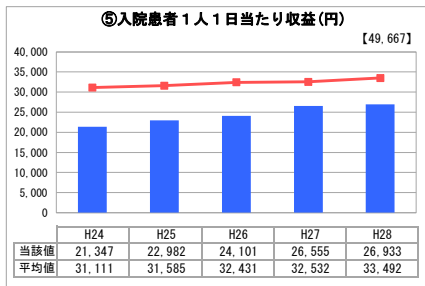


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



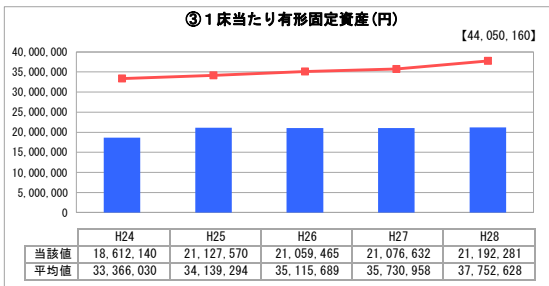
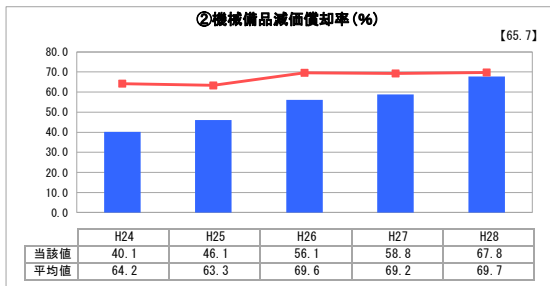
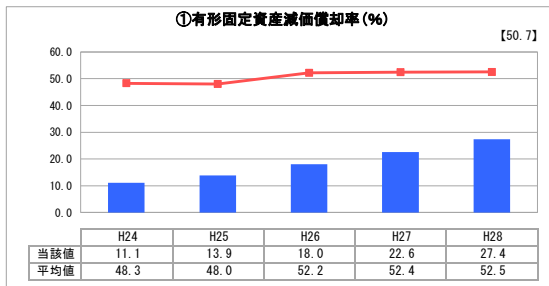
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

酒田医療センターは北庄内地域の回復期・慢性期療養の充実を図るため、次のような医療を提供する役割を担っています。

- ・「回復期」医療機能を有し、在宅復帰に向けた医療及びADL（日常生活動作）の向上を目的としたリハビリテーションを提供します。
- ・「慢性期」医療機能を有し、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等を受入れます。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度は、平成31年度までの4年間に取り組んでいく施策の事業計画や財政計画等を明らかにした「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構第3期中期計画」の初年度として、計画に掲げた主要施策を中心に事業を着実に実施しました。

「①経常収支比率」及び「②医業収支比率」は、中期計画の目標値である80%以上を達成しています。「③累積欠損金比率」は年々減少傾向で推移しています。

「④病床利用率」は、類似病院平均値に比べて高い水準で推移しています。

「⑤入院患者1人1日当たり収益」及び「⑥外来患者1人1日当たり収益」は、年々上昇傾向で推移しています。

「⑦職員給与費対医業収益比率」は、年々減少傾向で推移しています。

「⑧材料費対医業収益比率」は、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

「①有形固定資産減価償却率」は、建物の増築改修工事完了から間もないため、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

「②機械備品減価償却率」は、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

「③1床当たり有形固定資産」は、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

### 全体総括

近年、医療の高度化や医療需要の多様化が進む一方で、地域包括ケアシステムの構築等が急務の課題とされており、また、国の社会保障制度改革において、病院・病床機能の分化、在宅医療の推進などの方向性が示されています。

このような状況の中、医療を取り巻く状況に機敏に対応することが求められ、山形県・酒田市病院機構の基本理念である「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」及び「地域に貢献する病院経営」のもと、地方独立行政法人制度のメリットを活かし、これまでの経営面・運営面における実績等を踏まえた自律性・機動性の高い業務運営の確保に努めます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。